

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年 1月12日

公表:令和4年 1月 13日

事業所名 れいんぼう

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題、改善すべき点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2 職員の配置数は適切である	4			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		空間ごとに動物の名前をつけ認識しやすいようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		計画書を意識して支援しやすいよう見やすいところに掲示している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		意見箱を置いて意見をとり入れやすい。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	オープンして日が浅いため、第三者による外部評価まではいっていないと思う。開所してまもなくでこれから行う予定。	今回が初回の自己評価となるため、HPでの掲載、保護者控室で一読いただけるよう、ファイルの準備を行いたい。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者評価を受けれるようを環境、支援を整える。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	1	11月オープンのため、モニタリングはこれから実施する予定。	担当者を決めての療育支援。定期的なケース会議の開催でモニタリングを行う。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		会議は行われていないが、児童発達支援管理責任者が相談支援員と連携を取っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	1	母を通して情報共有している。	保護者の方に相談しながら主治医の方と連携していきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1		11月オープンだったため、今後保育、幼稚園等への訪問情報共有を予定している。	ご利用者さま在籍幼稚園の先生と保護者の方の意向に沿って、電話にて情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2	今後情報共有をして行きたい。	今後年長児さんに対して、保護者の方の意向に沿った情報共有していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	今後計画して行きたいと思う。	職員さんのお子さんが療育時にご利用者さまと関わる時があり、人数が少ないクラスにおいてはその関わりを大切にしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		毎回フィードバックして話をする時間を設けている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	1	2	講習会の案内など情報を流している。	家族支援プログラムを行う日時、場所、人員配置等、今後の検討課題。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		一人一人ていねいに関わっている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	保護者会ではないが、保護者も交えたイベントを行った。まだ開所したばかりなので、そこまで活動できていない。	保護者の方のみを対象にした会や活動は行っていない。今後の課題。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	内覧会では地域の人たちにもしっかりと呼びかけた。まだ開所したばかりなので、行事がなかった。	地域住民の方を招待する活動も今後の検討課題。ボランティア団体の方へ依頼もしていきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1	防犯や緊急時対応マニュアル作成を早期に行い、訓練していきたい	防犯マニュアル等、フローチャートになったマニュアルの作成、周知を早急に行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3	これから行なう。開所したばかりで、定期的には行っていない。	訓練未実施。地震、火事等療育中起こり得る災害に対する訓練を早急に行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	アレルギーがあるかないかの聞き取りはしているが、まだ、アレルギーの利用者はいない。	アレルギーの利用者さまがご利用になった際は、指示書の確認を行い、適切に対応し除去に努める。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3	開所したばかりで、できていない。	ヒヤリハット報告書のシートを準備、記入した。また起こり得る事例を検討、職員間での把握に努めた。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。